

報道関係者各位

特産品販路拡大 やどかりプロジェクト

『おおまち 地域ブランド×観光 まちづくりシンポジウム
特産品物々交換「やどかり交流」報告会』開催のご案内

大町町商工会では、地元特産品の販路拡大を目的に展開中の「やどかりプロジェクト」において、北海道岩見沢市、三重県鳥羽市とパートナーシップ協定を締結し、お互いのまちの特産品の相互販売を実施しております。

この度、やどかりプロジェクトで新たに生まれた特産品を通じた地域間交流の報告と、大町町のこれからのまちづくりについて考える「地域ブランド（特産品）×観光まちづくりシンポジウム」を開催する運びとなりました。

基調講演では、岩見沢訪問の際にお会いした札幌国際大学観光学部教授で、ご自身が北海道三笠市の北炭幌内炭鉱で生まれ育った経験から炭鉱の歴史と遺産を活かしたまちづくりに尽力されている吉岡宏高先生をお招きして、大町町のルーツでもある炭鉱の歴史と遺産を地域固有の資源として活用している他都市の取り組み等についてお話頂きます。この機会に大町町の歴史を振り返りつつ、まちの未来像について考える契機になればと思います。

■ 開催概要

日 時 | 5 月 31 日（日）13：30—15：30

会 場 | 大町町公民館 大集会室

佐賀県杵島郡大町町福母 2481

概 要 | 別添フライヤーをご参照ください。

■ お問い合わせ先

大町町商工会 指導課長 白濱 幸広

佐賀県杵島郡大町町大字福母 419-3

Tel 0952-82-5555 / Fax 0952-82-3662

■ やどかりプロジェクトとは

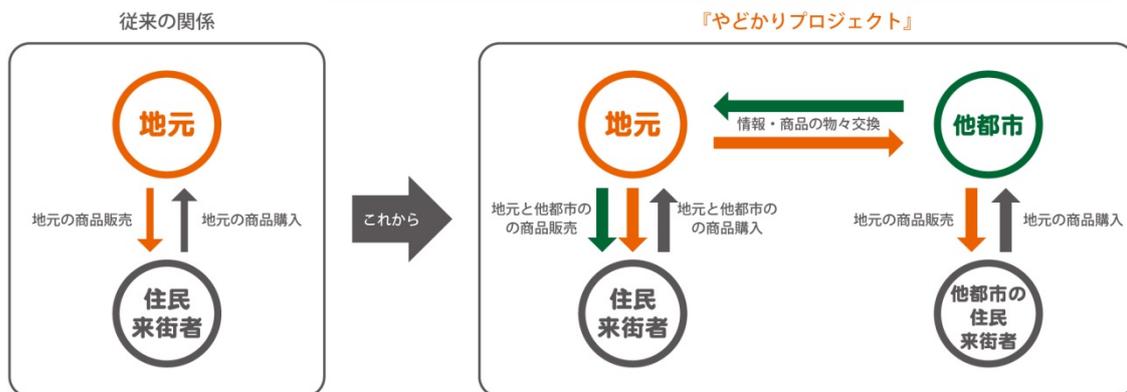
まちの特産品をお客様に届けるには、まずは、地元の方々の「こころ」を伝えたいと思いました。「やどかりプロジェクト」は、自分たちが大切に育て上げた“贈り物”を、自らの手で持参し、様々な地域の方々との交流を通じて、お互いのまちの情報と物産を交換し、全国各地の人々の「こころ」を持ち帰るプロジェクトです。

お互いのまちの逸品を、お相手のまちで販売してもらおう＝「やどを借りて販売し合う」ことから『やどかりプロジェクト』と名付けました。

それぞれの地元でお相手のまちの逸品と地元の逸品と一緒に販売することによって、話題性とPR効果による販路の拡大とともに、まちとまちの交流を深めます。

大町のとおき、あなたのまちのとおき、
♪交換しましょ！そうしましょ！！

地域間交流 × 全国への販路拡大 × 地元の活性化 × 研修・人材育成	<ol style="list-style-type: none">1. 特産品物々交換ツアーの実施 お互いのまちの特産品を物々交換！地域間交流を行います。2. 鳥羽の特産品と大町の特産品を合わせて販売 大町の特産品を鳥羽で販売し、物々交換した鳥羽の特産品を大町で販売します。お互いの特産品をセットで販売・PRを行うことで、販路拡大と集客効果が期待できます。3. お互いのまちの観光物産振興を学び、ともに発展し合います お互いのまちの観光や物産振興を学び、それぞれのまちの発展につなぐことができます。
---	---



■ 北海道岩見沢市・三重県鳥羽市を訪れ、「やどかり協定」を締結。

大町町の特産品が岩見沢市・鳥羽市で販売され、大町町では岩見沢市と鳥羽市の特産品を販売しています。

やどかりプロジェクトの企画者である佐賀出身の建築家、ワークヴィジョンズ 代表の西村 浩氏にご紹介頂き、2月に北海道岩見沢市、4月には三重県鳥羽市を訪れ、いわみざわ駅まるプロジェクト、鳥羽商工会議所と特産品の物々交換を行い、やどかりプロジェクトにおけるパートナーシップ協定を締結しました。

「大町たろめん」ほか、数々の大町の特産品が岩見沢と鳥羽で販売されており、大変好評をいただいております。また、岩見沢、鳥羽の特産品は、地元大町の物産とともに、大町情報プラザで紹介、販売しております。この機会にぜひ大町情報プラザにも足をお運び頂けましたら幸いです。

- 第1回やどかり交流 | 2015年2月8日
北海道岩見沢市 / いわみざわ駅まるプロジェクト
岩見沢市観光物産拠点センター iWAFO (イワホ) にて



- 第2回やどかり交流 | 2015年4月4日
三重県鳥羽市 / 鳥羽商工会議所
海女の家五左屋 (相差町) にて



おおまち 地域ブランド × 観光 まちづくりシンポジウム

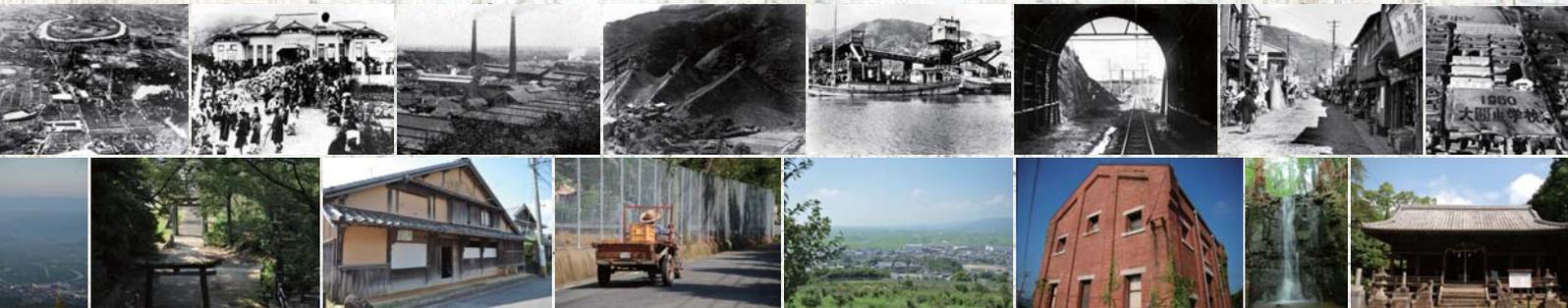
特産品 物々交換
「やどかり交流」報告会

先着300名様に
大町たろめん1袋プレゼント!
12時~13時NBCラジオ佐賀で
直前公開生中継!
ぶつぶつ交換の商品が
当たる抽選会も
ありますよ!

日時 | 5月31日(日) 13:30-15:30

会場 | 大町町公民館 大集会室

佐賀県杵島郡大町町福母 2481



■特産品販路拡大プロジェクト「物々交換やどかり交流」報告

第1回 北海道岩見沢市・第2回 三重県鳥羽市とのパートナーシップ協定と交流会の報告

■基調講演「炭鉱(やま)の記憶とまちづくり」講師 | 吉岡 宏高氏

「果たして炭鉱は負の遺産なのか?」生まれ育った幌内炭鉱などでの子供時代の体験を軸に、炭鉱遺産とまちづくり、アートによる炭鉱遺産活用の事例や取り組みについてお話いただきます。

●プロフィール | 札幌国際大学観光学部教授、NPO 炭鉱の記憶推進事業団理事長
1963年生まれ・北海道三笠市の北炭幌内炭鉱出身。道内各地の地域資源を活用した観光交流の政策立案や市民主体の地域活動のサポート、各自治体での政策形成の支援や職員研修の講師も勤める。出身地である三笠市を中心とした空知産炭地域では、これまで「負の遺産」と捉えられてきた炭鉱遺産を地域固有の資源として活用し、地域活性化を目指した活動を実践。著書に『明るい炭鉱』(創元社:2012年)など。



■特産品販路拡大プロジェクト「物々交換やどかり交流」パネルディスカッション

北海道岩見沢市・三重県鳥羽市 × 大町町

コーディネーター | 西村 浩 (建築家・ワークヴィジョンズ 代表)

パネリスト | 清水 清嗣 (鳥羽商工会議所 専務理事)

小倉 和敏 (岩見沢市観光協会 常務理事) / 五十嵐 紀恵 (いわみざわ駅まるプロジェクト)

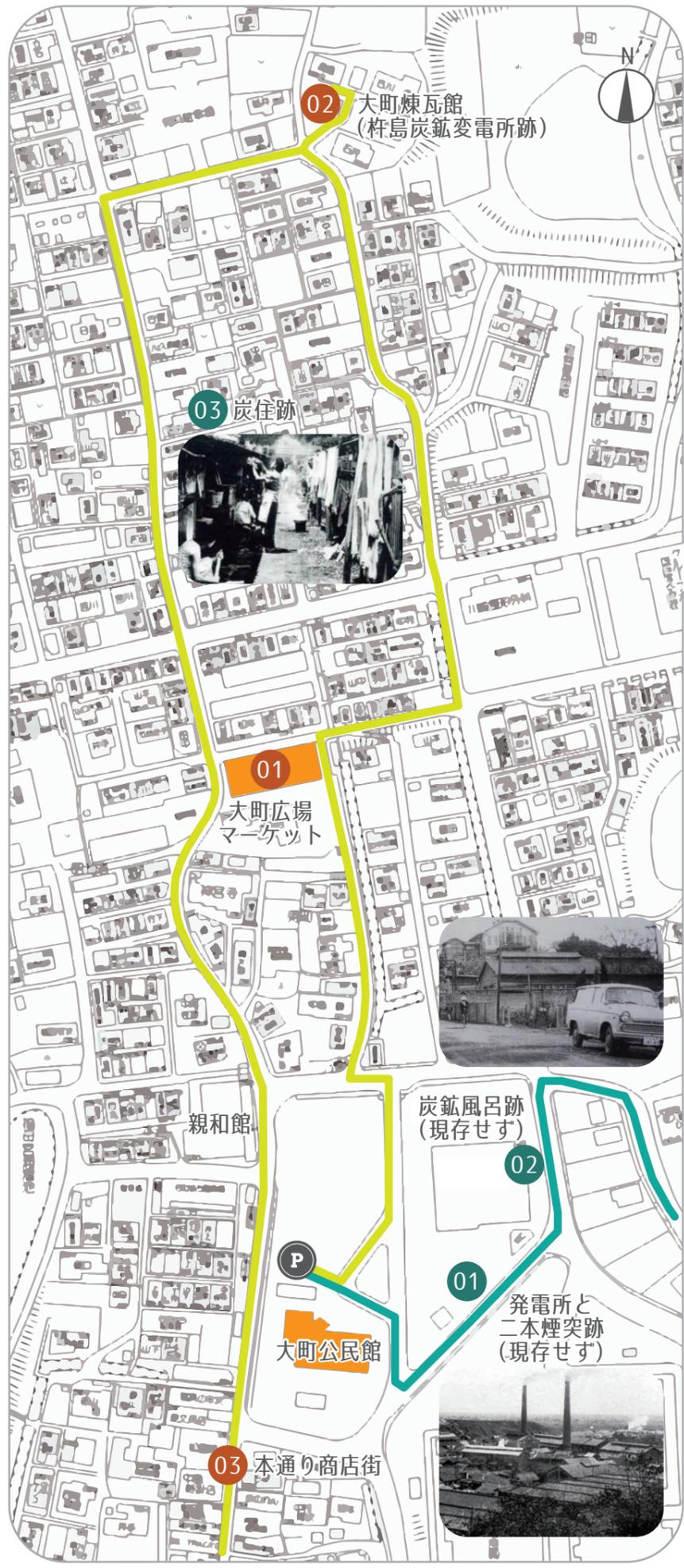
白濱 幸広 (大町町商工会 指導課長) / 山下 淳也 (大町町特産品事業ワーキング委員長)



お問合せ | 大町町商工会

佐賀県杵島郡大町町大字福母 419-3 Tel 0952-82-5555 / Fax 0952-82-3662

大町炭鉱まち歩きマップ



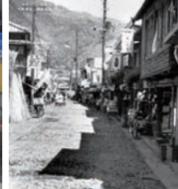
- 01 大町広場マーケット
- 02 大町煉瓦館
(杵島炭鉱変電所跡)
- 03 本通り商店街
- 04 ぼた山
- 05 四坑跡地



当時の様子



当時の様子



当時の様子



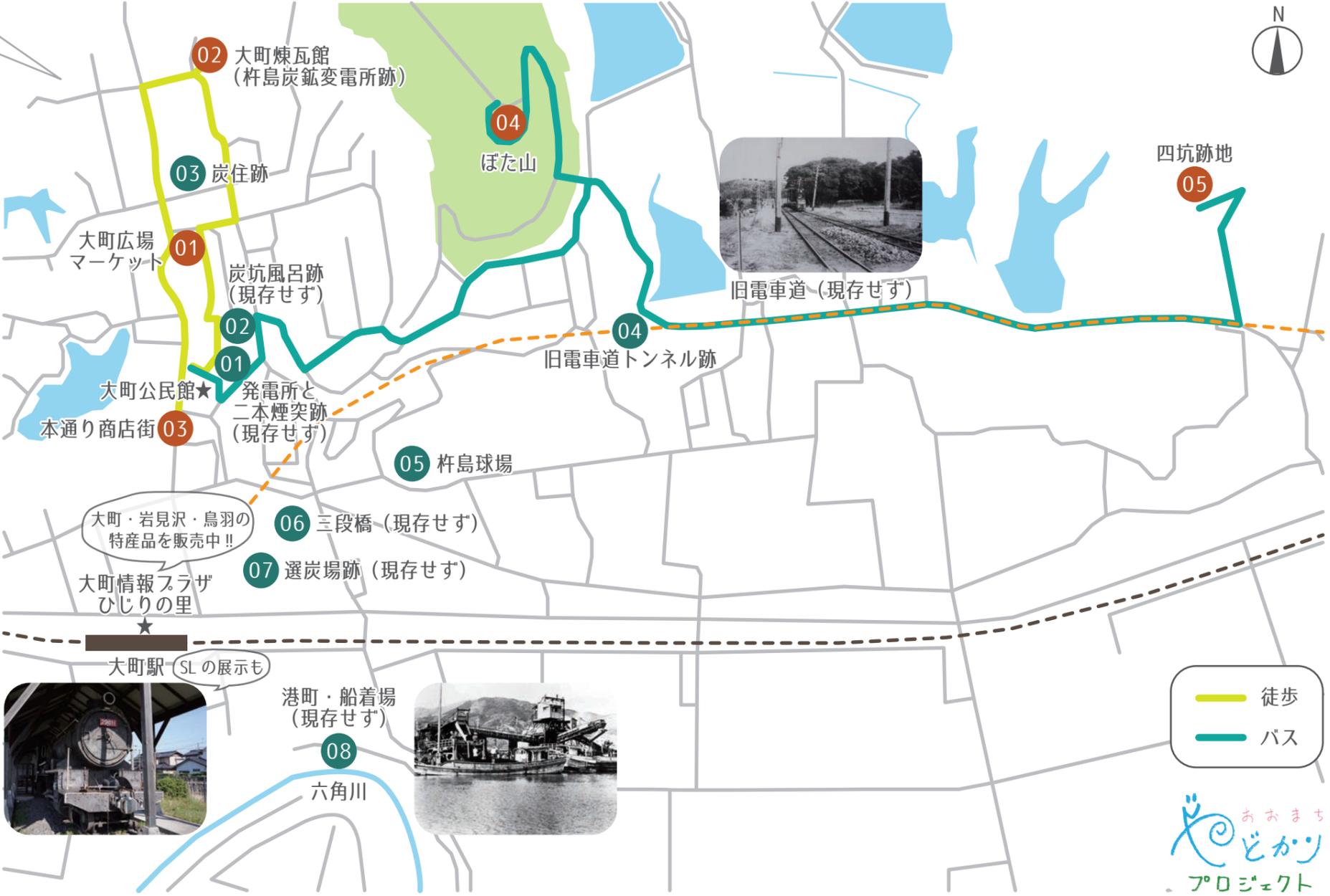
炭鉱時代の大町最大のショッピングエリア。魚、野菜などの食料品が立ち並び、多くの利用客で賑わった。現在も同名のまま存在しており、お年寄りの買い物場、憩いの場として貴重な役割を果たしている。

昭和2年より稼働された赤レンガ造りの変電所。炭鉱施設や炭住に電力を送っていた。現存する唯一の炭鉱時代の建物で、現在は「大町煉瓦館」として修復保全後、当時の思い出の場やコミュニティの場として活用中。

衣料品店、金物屋、雑貨屋、食堂、パチンコ店…など、ありとあらゆる商店が軒を並べ、人の往来が絶えなかった。

炭鉱で採掘した「石炭」を選炭した後に残る岩石や粗悪な石炭を積み上げた山。「炭鉱の歴史」を積み上げて山となった。現在は森林が進み「里山」化している。

溜池の畔に現在も残されている四坑に付随していた通風坑。丸く開けられた扇風機の穴、空気抵抗を減らす流線型の空間、天井の換気穴から光が射す光景はまるで神殿にいるかの様に神秘的。



大町駅 SLの展示も



港町・船着場 (現存せず)

